

2期基本計画(案)

※市営住宅ゾーンに建設する市営住宅の戸数等は平成29年度の後半に実施方針で公表予定です。

※9・16・25・32・41・42号棟の敷地の土地利用計画等は未定です。

2期事業で仮移転をお願いする範囲



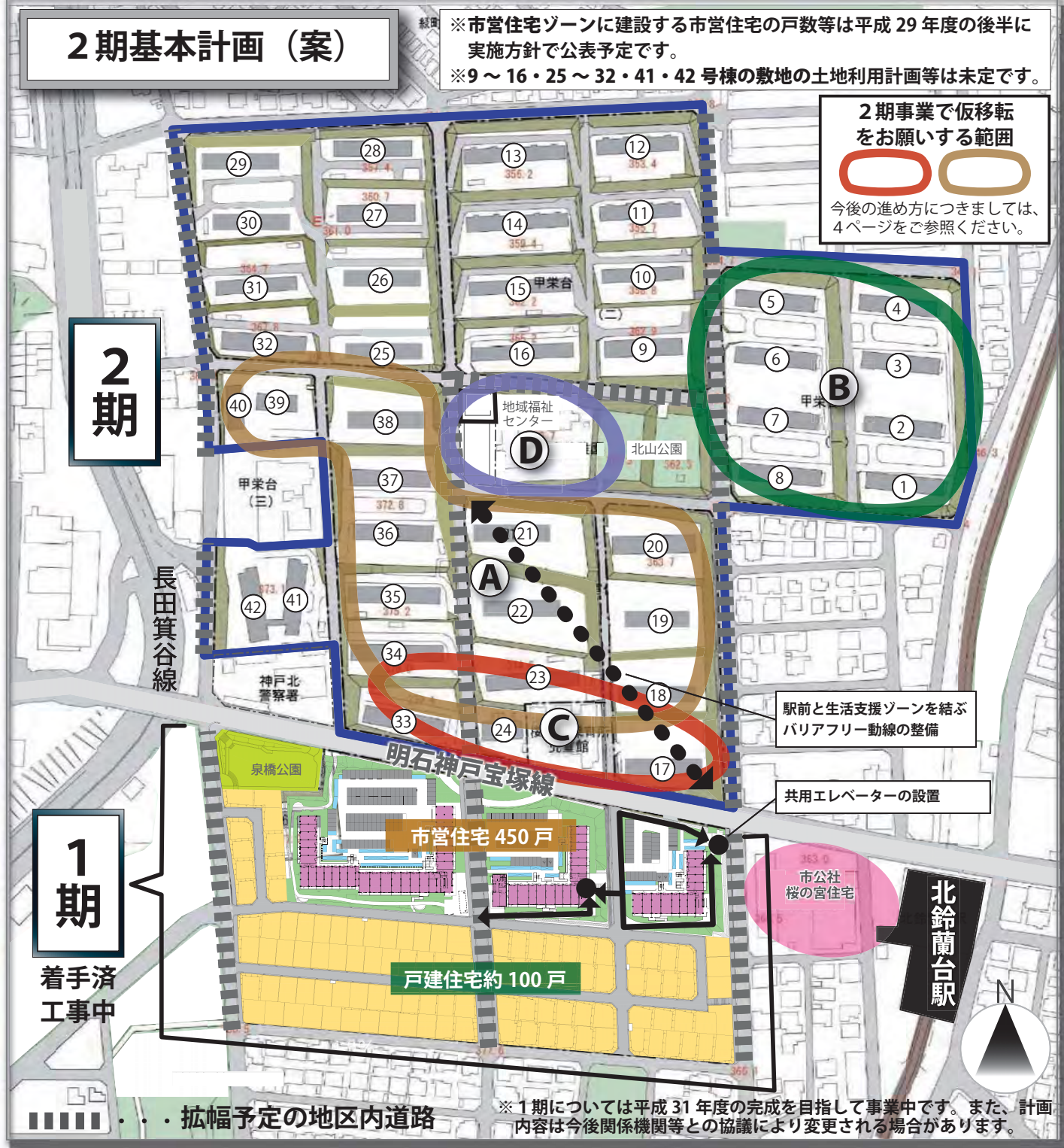
今後の進め方につきましては、4ページをご参照ください。

2期

1期

着手済
工事中

■■■■■■ 拡幅予定の地区内道路



ゾーン配置の基本的な考え方

A 市営住宅ゾーン

今お住まいの住宅から、大きく離れないように、市営住宅を適切に集約し、入居者移転の負担を軽減します。

B 一般住宅ゾーン

周辺と調和が求められるゾーンに、低層住宅を中心に計画しつつ、駅の近くなどについては、立地にふさわしい利用を計画します。

C 沿道利用ゾーン

市営住宅にお住まいの方々や地域の方々にとって利用しやすい明石神戸宝塚線沿道は、にぎわいづくりと利便性の向上につながる施設を計画します。

D 生活支援ゾーン

桜の宮保育所・児童館の移転を計画します。また、高齢者向け福祉施設の誘致等により、地域福祉センターも含め、生活支援の拠点となる整備を図ります。

←●●●●●●●→ 高低差の少ないバリアフリー動線(歩行者空間)を計画します。

・・・駅前について
～駅前にもふさわしい機能向上を検討～
駅前機能向上の可能性について、関係者と相談していきます。

市営桜の宮住宅建替事業基本方針による 3つのまちづくりの目標像 (平成26年4月策定)

1. 若い人からお年寄りまで、いきいきと住めるまち
 - ・子育て世代とお年寄りが支えあい、交流するふれあいのまち
 - ・子育て世代の入居を促進し、子供達の声があふれる活気あるまち
 - ・お年寄りも、元気にいきいきと暮らすまち
 - ・幹線道路沿道に生活利便施設を誘致するなど、にぎわいのあるまち
2. 環境に配慮したゆとりとうるおいのあるまち
 - ・道路や公園、広場などを整備し、ゆとりのある、自然あふれる魅力的なまち
 - ・省エネや創エネ技術を積極的に取り入れ、環境負荷の低減に配慮したスマートタウン
 - ・周辺の住宅景観と調和したうるおいのあるまち
3. 誰もが安全・安心に暮らせるまち
 - ・住宅から駅など利便施設までのバリアフリー化を図り、安全に暮らせるまち
 - ・子育て世代やお年寄りを支援する施設を誘致し、安心して暮らせるまち

※1期については平成31年度の完成を目指して事業中です。また、計画内容は今後関係機関等との協議により変更される場合があります。